

## 保育計画成果報告書

法人名	特定非営利活動法人大和子どもメディアサービス ワークス・コレクティブ もこもこ
施設名	もこもこ保育園
報告者(役職)	番長 知世恵 (代表理事)
住所・連絡先	神奈川県大和市中央林間4-21-3 リュミエール中央林間
	TEL 046-277-2480 Fax 046-208-2490
	E-mail hoiku-mokomko@jcom.zaq.ne.jp

### ○タイトル(保育計画)

毎日元気に外遊び

### ○主な助成備品

大型ソフトクッション、立ち乗りベビーカー、ロッカー、ベビーベッド

## 1. 保育計画策定の目的

小田急線中央林間駅の住宅街にある、もこもこ保育園は2015年4月より認可保育園になりましたが、園庭がありません。しかし、乳幼児期には外遊びは大切と考え、朝に夕に近隣の公園に出かけています。近くに「つるまの森」という貴重な森もあり、そこへ出かけて行くことも多く、森では木や葉を見、鳥の声を聴き、風を匂い、土を触り、時には木の実を味わうといった五感を養うことが出来ると思っています。

森の中には原っぱがあり、小さい子たちはそこでハイハイしたりしています。そのため、外へ出かけるための立ち乗り用ベビーカーと、0歳児には坂道などもハイハイをさせたいと思い、室内で斜面や階段がある大型のソフトクッションを購入しました。

## 2. 具体的な実施内容

大型ソフトクッションは場所をとるため、最初は天候の悪い日などに出して、遊ばせていました。しかし程なく0歳児が大きくなってきたため部屋のベビーベッドを、一台片づけることが出来たので、それからは常置していつでも遊べるようにしました。

7つのパーツを並べたり、重ねたり、カーブのある部分をハイハイさせたり、組み合わせを変えて使用しています。

また地域の方への園開放の折には、広い部屋に出して、使っていただいています。ベビーカーは毎日大活躍です。今回購入したのと同じ物を持っていましたが、2台連なって出かけています。



2台に分乗して毎日公園へお出かけします

### 3. その成果と評価

乳児期にたくさんハイハイをさせることは、腕や腰や背中の中の筋肉のために大切と考え、室内では布団などを積み上げて坂道を作ったりしていましたが、ふわふわしてうまくいかなかったり、作るのにひと手間かかっていた。この大型クッションではしっかり斜面や階段をハイハイ出来るので子どもも安定して遊ぶ事ができます。

今では、歩くのもしっかりしてきて、上から走って降りたり、上からジャンプしたりと毎日活発に楽しんでいます。

また常置し、子どもがいつでも使えることで、クッションの階段のところでも安定して登り降りが出来ている気がします。

園開放では、カラフルな色が目につくのか、初めて来たお子さんもまずはそちらの方に行くといった状況です。保護者から離れられないお子さんも、まずは遊んでみたいと思ってもらえる良いツールだと思っています。

立ち乗りベビーカーは、公園へ行くだけでなく、避難車として特に必要なものと思っていました。6年前の東日本大震災の時につくづくそれを感じたので、今回購入できたことは、職員たちの安心をひとつ増やすことにもなりました。



保育士に手を引かれて登っていた子が、しっかりした足取りで登り降りしています。

#### 4. 今後の課題と展望

今回購入した大型ソフトクッションは0・1歳児にはとても適切な遊具だったとわかりましたが、もう少し大きい子だと使い方が違いました。2歳児は飛び乗ったり、上で押しあつたりと、危険な使い方をしてしまいます。やはり年齢にあった遊具が必要と感じました。

今後は、子どもの運動機能をどう高めていくのかが課題です。特に年齢の大きい子たちにどうやって、平衡性、柔軟性、俊敏性などを高める運動遊具などの環境を整えていくか、もっと知恵を絞りたいと思います。

認可園になってまだ2年ですが、知られてきたのか園開放の参加者は、少しずつ増えています。この大型クッションを活用して、地域の方にも楽しんでいただき、子育て支援の一助を担いたいと思います。

以上